

2006 関西学生サッカー選抜チーム オーストラリア遠征
 ~2006 Japan Australia Study Link Cup in Melbourne, Australia~
 2006.8.7~2006.8.12

Date・Weather	第3戦	Time	Place
2006年8月11日(金)・晴れ	vs Victorian Institute of Sport	19:00	Darebin International Sports Centre

◇試合結果◇

関西学生選抜 **6** ($\begin{matrix} 2 & - & 0 \\ 4 & - & 1 \end{matrix}$) **1** Victorian Institute of Sport

◇得点◇

15分 ⑧楠神
 25分 ⑱熊元
 49分 ⑪阪本
 63分 ⑩西田
 82分 ⑪阪本 〈PK〉
 85分 ⑭川口

◇得点◇

88分 〈PK〉
 *得点者不明



《戦評》

オーストラリア遠征の最終となる第3戦、Victorian Institute of Sport とのゲーム。州選抜との事でかなりのモチベーションをもって選手、スタッフ共にこのゲームには挑んでいた。しかし、年齢が17歳以下のチームである事が試合前に発覚した。これに選手たちはいい意味で興奮し、昨日までのゲームがうその様な動きを見せた。

前半15分ゴール前のFKをすばやく始め、福本(立命大)が楠神(同大)へ、楠神が右足アウトサイドキックでゴール左隅に決めたのをかわきりに25分、左サイドからのFK、小野原(関学大)があげたボールを熊元(大体大)が決め2-0とし、前半を終える。

後半開始から木原(阪南大)と阪本(関西大)を代え、その代わって入った阪本が49分にペナルティーエリア外から豪快なミドルシュートを決め、3-0。57分に小寺(阪南大)に代え川口(関西大)、60分に熊元(大体大)に代え、西田(阪南大)を投入。更に、63分に小野原に代え長島(関西大)、福本(立命大)に代え西谷(大体大)を投入し昨日と違い金子(関学大)を右サイドバック、伊庭(立命大)を左サイドバックにし、システムを変更せず4バックのままゲームを運んだ。そして、その63分、西田がゴール前、阪本とのコンビで、3試合連続となるゴールを決め4-0。

70分には原田(関学大)に代え金川(大教大)を投入。82分に川口が得たPKを阪本が冷静に決め5-0。85分には右サイド、金子がオーバーラップしてクロスボールをあげ、そのクロスボールを西田が受けフリーの川口に、川口が難なく決め6-0とした。

88分には不可解な判定からPKを取られ、6-1とされるが、そのまま試合終了。

攻撃の方は6得点と昨日のまでのうっぷんをはらすべく大量得点し、守備面でもファーストディフェンスのアプローチの速さなど切り替えの部分の速さも随所に見られ、終始関西選抜チームがゲームをコントロールしている試合だった。

(文責:関西学生選抜コーチ 島岡 健太)